



風水害

異 常気象などにより予測以上の被害を受けることがあります。日頃から自分の家の環境を確認し、水害に注意しましょう。

～日頃から注意する点～

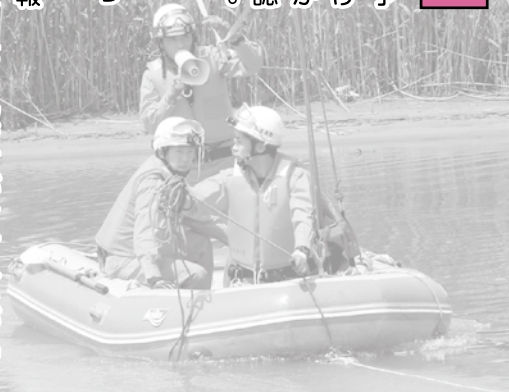
- 周りの道路側溝がつまっているか
- テレビやラジオの気象情報
- 家の地盤が道路より低くないか
- 周囲に危険な河川はないか

～早めの避難を

心掛けましょう～

台風や集中豪雨による浸水は一気に押し寄せてきます。避難の遅れは生命の危険に直結します。避難勧告・避難指示が出たときにはも

ちろんですが、それらが出ているだけでも付近で危険を感じたら、自ら早め早めに行動することが大切です。
※避難勧告・災害が発生する危険性があるときに避難を促すものです。
※避難指示より災害発生の危険性が高まったときに避難をさせるために出されるものです。



洪水避難の注意点

●車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになります。浸水すると動けなくなりますので、特別な場合を除き徒歩で。

●非常持ち出し袋の準備を

避難するときの荷物は必要最低限度とし、事前に準備しておきましょう。

●はきもの

裸足・長靴は禁物。ひもでしめられる運動靴で。



●避難する前に

電気・ガスなどの火元を消し、避難所を確認しましょう。

●歩ける深さ

歩ける深さは、男性で約70cm、女性で約50cm。水深が腰までであるようなら無理は禁物です。



安心・安全情報メール

災害などの情報が登録した携帯電話やパソコンへメールにより配信されます。安心・安全情報メールの受信を希望される方は、市ホームページや右のQRコードから登録できます。



洪水時の避難所 ※1か所の避難所に集中しないため区域を設けています。対象区域外の方も避難所に避難できます。

避難所	所在地	電 話	避難対象区域
霞ヶ浦環境科学センター	沖宿町1853	828-0960	沖宿町、田村町、手野町
上天津東小学校	沖宿町2489	828-1018	
湖畔荘	手野町1892-1	828-0881	
上天津西小学校	手野町3651	828-1016	木田余、真鍋新町
ワークヒル土浦	木田余東台四丁目1-1	826-2622	城北町、真鍋一丁目
二中地区公民館	木田余1675	824-3588	
土浦第二中学校	東真鍋町21-7	821-0808	港町一～三丁目、有明町、桜町一・二丁目、大和町
真鍋小学校	真鍋四丁目3-1	821-0752	桜町三・四丁目、大町、千束町、生田町、大手町
土浦第一高等学校	真鍋四丁目4-2	822-0137	川口一・二丁目、湖北一・二丁目、東崎町
土浦工業高等学校	真鍋六丁目11-20	821-1953	中央一・二丁目、文京町
都和小学校	並木五丁目4826-1	831-1510	殿里、真鍋二・三丁目、西真鍋町、東真鍋町、虫掛、常名
都和公民館	並木五丁目4824-1	832-1667	
都和南小学校	常名3090	823-8251	立田町、田中一～三丁目、田中町
土浦第三高等学校	大岩田1599	821-1605	大岩田
土浦日本大学高等学校	小松ヶ丘町4-46	822-3382	蓮河原町、蓮河原新町、滝田一・二丁目、小松一・二丁目、富士崎一・二丁目
土浦保健センター	下高津二丁目7-27	826-3471	小松一・二丁目、富士崎一・二丁目
四中地区公民館	国分町11-5	824-9330	
土浦第四中学校	中高津三丁目10-4	821-0297	下高津一～四丁目、上高津
下高津小学校	下高津四丁目2-9	821-1100	穴塚、矢作、飯田、佐野子、粕毛
藤沢小学校	藤沢3057	862-3505	藤沢、藤沢新田、上坂田、下坂田、高岡、田土部
新治地区公民館	藤沢990	862-2673	

がけ崩れの 起こりやすい場所



6月は土砂災害防止月間

土 砂災害は、長雨・大雨・豪雨により発生します。予測が難しいため、被害が大きいのも特徴です。しかし、「前ぶれ」もありますので、がけ地や傾斜地では注意深く様子を見て、早めに避難することが大事です。

～がけ崩れが起るわけ～
●雨で土中の水分が増える
と土の重さが増して、土の抵抗力が減ります。
●「風力」が樹木から地盤に伝わり、振動で地盤がずべり出す力を増します。
●高さ5メートル以上、勾配30度以上のがけ地では、がけ崩れが起こりやすくなります。

がけ崩れ・地すべり

～こんなときは要注意～

●がけから小石がパラパラと落ちる
●がけに裂け目ができる
●がけから濁った水がわき出てくる

～がけ崩れが起るわけ～

6月1日～7日は
がけ崩れ防災週間

がけ崩れ防災週間

非常時の持ち出し袋 CHECK!!

- ☐ 飲料水
- ☐ 食品
(乾パン、インスタントラーメン、缶詰、チョコレートなど)
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 予備の電池
- ☐ 現金、通帳、はんこ
- ☐ ろうそく
- ☐ ライター・マッチ
- ☐ 軍手・手袋
- ☐ ナイフ、缶切り
- ☐ ロープ
- ☐ ビニール袋
- ☐ 衣類
(下着、靴下、上着、雨具)
- ☐ ヘルメット・防災頭巾
- ☐ 救急セット

竜巻

竜 巻は、台風、寒冷前線、低気圧などに伴って突発的に発生する激しい渦巻で、強風を伴い進路に当たる物体を巻き上げながら移動します。また、非常にスピードが早く、短時間で大きな被害をもたらします。

～竜巻注意情報～
発表されたら

竜巻が発生しやすい気象状況になっているとき、気象庁から竜巻注意情報が発表されます。市では、ホームページ、安心・安全情報メール、ツイッターなどで、市民の皆さんに竜巻への注意を呼びかけます。

～竜巻が間近に迫ったら～

- ◆屋内では
 - 建物の1階の部屋に移動
 - 雨戸やシャッターを閉めて窓から離れる
 - 丈夫な机の下に入り、頭を守る
- ◆屋外では
 - 頑丈な建物の中に避難する
 - 電柱や大きな木から離れる
 - 姿勢を低くし、飛来物から頭を守る

非常時・緊急時

水害の危険が予想される非常時には、皆さんに水防活動への協力などをお願いすることがあります。効果的な水防活動がスムーズに実施できるように、水防活動へのご理解とご協力をお願いします。

水防活動への協力要請

住民に対する協力要請があったときは、進んで水防活動に協力しましょう。

緊急車両の通行

緊急時には、道路でなくても緊急車両の通行をさせていただくことがあります。

公用収用

水防活動の現場で、一時的な土地の利用や、竹や木を使わせていただくことがあります。

水防通信

緊急時には、水防関係者に電話などの通信設備を優先的に利用させてください。